

社会のNeeds×歯科医療の新展開

Keywordは“連携”

9月1日(日) 9:30~16:30

大阪大学中之島センター

10F／佐治敬三メモリアルホール

地域医療

周術期管理

嚥下障害

がん終末期

最近、周術期の口腔機能管理で歯科の役割が見直されました。また、「死の直前まで口から食べる」という考えが世の中に浸透して、摂食嚥下機能障害の方についての歯科の役割が重要となっている中で、医科や介護など多職種との地域医療連携の確立が必須となっています。今回の講演では、口腔のケアに関する医療連携の司令塔ともいえる病院歯科の立場から、薬師寺先生に地域完結型医療における歯科の未来像を語っていただきます。次に、大学における周術期管理の取り組みについて、岡山大学教授の飯田先生にお話ししていただきます。続いて、開業医の立場で嚥下障害の治療に「食医」として取り組んでおられる小谷先生と、緩和ケア病棟で終末期医療における支える医療を目指しておられる杉先生のお話を聞きます。今回のテーマには歯科衛生士の行う口腔のケアが含まれます。歯科衛生士などコデンタルスタッフとのチームワークがなければ決して実現できません。どうぞ、コデンタルスタッフの方とご同伴になって、ふるってご参加ください。

講演1 歯科における医療連携についての考え方 ー病院歯科の立場から

医療の集中と機能分化の時代において、一つの医療機関のみで医療を完結させることは困難になってきています。そこで、「地域完結型医療」の構築は緊要の課題であり、歯科を含めた地域医療連携体制が求められています。今回は、これをどのように今後構築してゆくかを考えてみたいと思います。

講師 薬師寺 登先生
公立学校共済組合近畿中央病院 口腔外科部長
日本病院歯科口腔外科協議会 理事長
日本口腔外科学会 理事

講演内容 ・医療法を中心とした地域医療連携に関わる制度・健康政策の変遷
・今故、地域医療連携なのか、地域医療計画の見直しの胎動としての5疾病



講演2 病院における歯科による周術期管理 ー岡山大学病院の取り組み

昨年の歯科健康保険の改正で周術期口腔機能管理料があらたに設置され、医学系疾患における術前後の歯科の積極的関与が促されています。岡山大学病院では医学部麻酔科が中心となり、2008年9月に周術期管理に特化した治療部門（周術期管理センター）が院内に設立されました。さらに、周術期の歯科治療を専任で行う医療支援歯科治療室が2010年12月に設置され、現在多くの患者の治療ならびに学生や研修医への周術期管理の教育にあたっています。今回の講演では、歯科として周術期管理の重要性を発信したいという岡山大学病院での現在の取り組みについてお話をさせていただきます。

講師 飯田 征二先生
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
顎口腔再建外科学分野 教授

講演内容 ・周術期管理センターならびに医療支援歯科治療室設立の経緯
・歯科による周術期管理とその教育における現在の取り組みについて



講演3 歯科と嚥下障害 ～食医とは

口腔機能の専門家であり、訪問診療に携わることが多い歯科が、生活の一部である「食」を在宅や施設で支える、すなわち「歯科が嚥下を診る」ことが社会から求められています。しかしながら、歯科としての嚥下の受け皿が確立されなければこの流れが止まりかねません。今回、歯科が「食医」となるために必要なことを皆様と考えたいと思います。

講師 小谷 泰子先生
大阪大学歯学部付属病院 顎口腔機能治療部 招聘教員
寝屋川市歯科医師会 理事
医療法人美和会 平成歯科クリニック 院長

講演内容 ・超高齢社会の「食」・歯科が嚥下を診る必要性
・在宅における嚥下診療の実践
・歯科医療のパラダイムシフト～嚥下診療に必要な知識と考え方



講演4 がん終末期医療における歯科の役割 ー治療的介入の考え方

終末期がん患者にとって「食べられる」ことは、終末期を生きる上で大きな意味をもっています。終末期医療においては最善の治療とケアの両方が必要ですが、今回は歯科医師として行う「食」を守るための治療的介入はどうあるべきかについて述べたいと思います。

講師 杉 政和先生
日本口腔外科学会 専門医・指導医
JACOMS会員、金沢市開業

講演内容 ・緩和ケアとは ・終末期における「食」の意味
・医療としての治療的介入の考え方



日程 平成25年 9月1日(日) 9:30~16:30

会場 大阪大学中之島センター 10F／佐治敬三メモリアルホール
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53定員 180名 参加費 歯科医師・医師 10,000円
その他の職種の方 3,000円

※本講演に関心のある方はどなたでもご参加できます。
※昼食は用意しておりません。 ※先着順で定員になり次第締め切ります。

ご質問等は j-info@jacoms.gr.jp までメールにてお願いします。 お申込ご入会については、日本臨床口腔外科医会 <http://www.jacoms.gr.jp> でもご案内しています。

お申込方法 下記の用紙に必要事項をご記入の上Faxにてお申込ください。
なお、お振込み確認をもって参加確認証を送付させていただきます。

Fax 06-6872-5968

お申込先 日本臨床口腔外科医会(JACOMS)事務局
〒661-0021兵庫県尼崎市名神町1-11-1
アビーロード名神1F いぶき歯科医院内

振込先：紀陽銀行 羽倉崎支店 (普通預金) 442294
口座名：日本臨床口腔外科医会 会計 栗本拓哉

第26回 日本臨床口腔外科医会研修会 参加申込書

フリガナ	所属(勤務先)	住所 〒 -	都道府県
氏名			
☐ 歯科医師・医師 ☐ その他の職種の方			
Tel(必須)	Fax(必須)	E-mail	